

# ゴンちゃん モンちゃん

Vol. 1 平成12年4月11日発行



## 里山エコスクールin中山の森

～里山林で学ぶ自然と環境と人の知恵～

この事業は(社)国土緑化推進機構の「緑と水の森林基金」の助成を受けて行っています。



### 里山エコスクール開校にあたって

皆さん、EXPO2005・里山エコスクールによろこそ。

博覧会協会がこのエコスクールを開催することになったのは、2つの理由があります。ひとつは、身近な自然としての里山に直接ふれて理解を深め、EXPO2005のテーマ「自然の叡知」を皆さんひとりひとりが考えてもらいたかったからです。そしてもうひとつは、このスクールを通じて皆さんが森に潜む自然の多様性と魅力にふれ、生きる知恵、五感を育てていただきたいと思います。

このエコスクールのテーマでもある「里山」とは、人里の周りにある林のことを言います。里山には豊かな自然があふれていて、人に利用されることでこれまでうまくバランスを保ってきました。薪や炭の燃料、食用の山菜、薬草、落ち葉の堆肥などは里山の恩恵です。里山を形づくっているのは林だけでなく、小川、ため池、田畑、湿地、草原などがひとつになってはじめて、たくさんの種類の生き物が暮らしているのです。それほど大切にされてきた里山ですが、豊かになった人々の暮らしの中では、生活に関わりのないものへと代わっていきました。そうして利用されなくなった都市近郊の里山は、開発の手にかかり、各地に急速に失われていきました。今わずかに残っている里山は、人から見放された薄暗く風通しの悪いところとなり、その里山の保管理は人の手が適度に入らないとうまくできないのであります。そうした里山に代表される自然と人との壊れかけた関係をもう一度回復させようという願いを込めて、私たちの2005年国際博覧会が「自然の叡知」をテーマに掲げているわけであります。

どうか、皆さんには是非、これからはじまるエコスクールの多彩なプログラムを通じて、多くのことを学んでいただき、里山にある数々の不思議、楽しみを体験してください。そしてこのスクールが終了するころには皆さんなりの「自然の叡知」を発見していただけたら...と、そう願っています。

(財)2005年日本国際博覧会協会事務次長 安井 俊夫



### 里山エコスクールとは？

このプログラムは「里山」で「エコ」を学ぶ「スクール」です。

**里山:**人里の近くにあつて、小川や池や田んぼ、草地、雑木林などで成り立っているのが里山。ここでは、瀬戸市生活環境保全林「中山の森」のエリアでプログラムを行います。この公園の中に暮らす生き物たちの様子を知り、水源を探したり、落ち葉かきをしたり、柴材と呼ばれる小さな木々を伐ったりと自然との関わりを持つことによって人と自然の関係を考えていきます。

**エコ:**エコロジー(環境問題)。世界で話し合われている地球環境の問題は、私たちの日常生活の良し悪しが大きく関わっていることを知ります。地球温暖化の原因になっている二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の濃度を増やさないこと。水を汚して海を汚さないことなど幅広く暮らしの中に原因がある環境の問題を森林の中で見つけ、見直して日頃の行動に活かしてもらいます。

**スクール:**ここでは皆で学ぶ場を示します。いつも通っている小学校とはちがうクラス編成で、先生の代わりに大学生のお兄さん、お姉さんたち。相談相手になってくれて必要なときに助けてくれる兄貴分として進行、案内などをしてくれます。クラスメイトと力を合わせて調べたり作業したりすると、自分や他人の意見をまとめたり、発表したりします。



水野 一男